



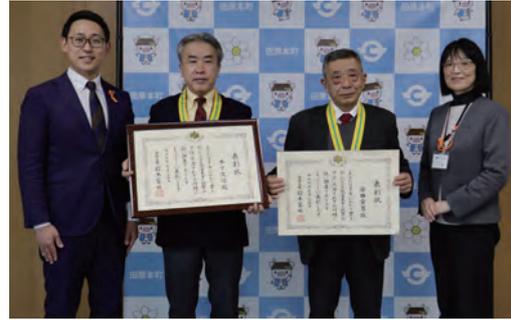
3/1

流域の美化活動

大和川一斉清掃

きれいな川を取り戻すため「マイリバーYAMATO みんなの手で美しい川に！」をスローガンとして、大和川一斉清掃が県内で実施されました。

町の清掃箇所である寺川沿いの秦庄橋から茶屋前橋の堤防などを清掃し、110kgのごみを回収しました。



2/6

更生支援活動に貢献

法務大臣表彰 受賞

長年にわたり保護司として更生支援活動に尽力されてきた木下久司さんと安田章男さんが、法務大臣表彰を受賞され、その報告のため高江町長を表敬訪問されました。

町長からは、これまでの活動に対する敬意と感謝の意が述べられ、今後ますますのご活躍を期待する言葉が贈られました。



3/3

地域の安全を守るため

自衛隊入隊・防衛大学校入校激励会

町在住で自衛隊に入隊予定の辰巳凜空さん（左から2人目）と、防衛大学校へ入校予定の山田恭太郎さん（左から3人目）の激励会が開催されました。

高江町長および伊藤正樹さん（自衛隊奈良地方協力本部長）から、辰巳さん、山田さんへ温かい激励の言葉が贈られました。



2/25

シヨパンコンクール銅賞

表敬訪問

上田茉奈さん（田小6年）が第27回シヨパン国際ピアノコンクールinASIA【小学5・6年生部門】アジア大会において銅賞を受賞されたことを報告するため、高江町長を表敬訪問されました。上田さんは受賞した際の気持ちや今後の目標などを語られ、町長からは祝福の言葉が贈られました。

町の情報を発信中！

LINE



Instagram



Facebook



FM まほろば



【食育クイズの答え】：① 高血圧を含む生活習慣病予防のために、1日の食塩摂取目標量を定めています。高血圧や腎臓病で治療中の人は、男女とも6.0g未満としています。健康に生活するために、少しずつ減塩に取り組みましょう。

町長 メッセージ

Vol.23

令和 8 年度 施政方針演説 (抜粋)



町長活動記録



町議会での
施政方針演説

総時間：1 時間 8 分
うち施政方針：約 25 分
(QR コードは施政方針演説開始時から再生)



令和 8 年度
施政方針



令和 8 年度
当初予算資料

令和 8 年度予算の概要については、本誌 2 ページからの特集をご覧ください。

令和 8 年度当初予算テーマ

「ちょうどいい幸福田園都市」を目指して

早いもので、町政をお預かりして 2 年の歳月を経ました。就任以来、町民の皆様と共に「幸せを感じられる田原本」のより一層の実現を目指して、全身全霊でまちづくりに取り組んでまいりました。

「こどもまるごとプロジェクト」をはじめとする各種の取組を継続・強化することに加えて、改定した教育大綱に基づく「つなぐグローバル教育」や、間もなく完成する「ともぱ！たわらもと」の整備等、新たな取組により着実に歩みを進めることができたものと考えております。町民の皆様にとっての「幸せ」とは何なのか。住民協議会や町民の皆様と対話の中で、多くの示唆をいただきました。私もこの田原本に住まう一人の町民として、このまちがもつ「ちょうどよさ」に心地よさと豊かさを感じています。

「都市に田園のゆとりを、田園に都市の活力を」

これは大平正芳元首相が掲げた田園都市構想を象徴する言葉であります。田原本は、利便性や経済成長といった都市的な活力と、田園風景などの自然や重層的な彩りある文化、地域コミュニティといった田園的なゆとり、その両者を併せ持つ「ちょうどいい」まちであって、今、我々に求められているのは、この「ちょうどよさ」をより高い次元へと引き上げることであると確信しております。これを踏まえ、令和 8 年度当初予算案のテーマを「ちょうどいい幸福田園都市へ」といたしました。そのうえで「人がつながり居場所と出番と活力のあるまち」「安心安全と多様な文化価値を感じられるまち」「未来にツケを残さない持続可能なまち」これら 3 つの柱を改めて掲げました。意見交換会等による延べ約 1000 名の皆様との対話や住民協議会での議論、議員各位との議論等を踏まえ「ちょうどいい幸福田園都市」のより一層の実現を目指す

ものです。また今年度においても引き続き聖域なき行財政改革を断行し、約 10 億円の財政効果を見込んでおります。結果として、当初予算案ベースで、財政調整基金をはじめとする非特定目的基金の取崩しが無い予算案を提案しておりますが、これは 10 年ぶりのことであり、財政健全化に向けた歩みも着実に進んでいるものであります。

本町には、二千年を超える人々の営みの歴史があります。時代は移り変わり、多くの困難の歴史もあったはずですが、それでも先人たちは、この町を守り、次の世代へと引き継いできました。我々が今、当たり前のように享受している日常は、その積み重ねの上にあります。「社会とは、死者、現存する者、そして未来の者との契約である。」

これは 18 世紀の政治思想家、エドモンド・バークの言葉であります。今、問われているのは、この田原本をどのような姿で未来に手渡すのか、ということです。「変化を恐れず、一步を踏み出すこと」「未来のために、今を変えていくこと」それこそが、田原本を受け継いだ我々の責任であると確信しています。この町には可能性があります。ここに暮らす一人ひとりの中に、未来を切り拓く力があります。だからこそ我々は「ちょうどいい幸福田園都市」を目指して挑戦を続けます。失敗を恐れず挑戦し続けることこそが、よりよい未来を築く唯一の方法であり、残りの任期 1 年 11 ヶ月においても挑戦し続ける覚悟であります。議員の皆様、町民の皆様、そして役場職員とともに、10 年後、20 年後を見据え「ちょうどいい幸福田園都市」の創造に向け、最善の努力を積み重ねてまいります。皆様におかれましては、町政に対するより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。